

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.4 >

アイムポッシブル 『I'mPOSSIBLE』日本版のリニューアル教材公開！

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会は、9月5日（月）に昨年行われた東京2020パラリンピック競技大会の閉会式（9月5日）に合わせて、『I'mPOSSIBLE』日本版のリニューアルされた教材の公開を始めました。

今回の改訂では、東京大会の情報や写真が更新され、ロゴやデザインも変わりました。

すべての児童・生徒が互いの人権を大切に、支え合う共生社会の担い手になれるように、「心のバリアフリー教育」に活用できる内容が含まれた教材です。小学生版と中高生版の2種類があり、それぞれに実技と座学があります。

指導案、教師用授業ガイド、映像資料、ワークシート等がダウンロードできます→
(<https://www.parasports.or.jp/paralympic/iampossible>)



「東京2020パラリンピックのレガシーについて考えてみよう！（座学）」

国立競技場を題材として、大会をきっかけに広がり始めた「共生社会の実現を目指す動き」や、「人々の意識の変化」を学び、大会のレガシーを考える内容です。障害理解や他者の尊重について気づきを得るアクティビティが含まれています。



※小学生版と中高生版でテーマは同じですが、説明の仕方や設問が異なります。

授業を受けた中学3年生の声

僕は、他の人とは違うことを優遇するのも差別で、他の人と何ら変わらない仲間という意識で一緒に行動したり一緒に遊んだりそういうことをすることが共生社会の実現として大変なんじゃないかと思いました。（中略）自分にできないことに目を向けるという視点もしっかり持ちつつ、自分ができることを伸ばしていく自分が活躍できる社会、自分をどう活かすかというところが大切になってくると思います。

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-4177